

赤岡小学校区支援地域本部（香南市）

■みんなで支える赤岡の子

《赤岡小学校区支援地域本部の取組》

『地域の教育力』とは、①「地域の方が子どもたちを指導できる力があること」、②「そのためにも地域の方々が気楽に学校に入ってこられる学校であること」、③「多くの地域住民の参画により学校教育活動が充実するとともに、子どもたちの『生きる力』が生まれる」といったことであるとの学校長の考えのもと、赤岡小学校支援地域本部が始まりました。

《支援・協働班（民生委員・児童委員）の具体的な取組》

平成28年3月に出された「第2期 高知県教育振興基本計画」の取組の方向性にある5つの柱の中の1つに『厳しい環境にある子どもたちへの支援』というのがあります。本校ではこの事業を生かして、課題解決についての取組を進めています。同支援地域本部で立ち上げたボランティア組織（黒潮の子ども応援隊）において、地域の民生委員・児童委員さんは全員が隊員となり、活動していただいています。

中でも4名の方に学校よりお願いし、特別な任務として、「支援・協働班」の活動をしていただいています。この班で話し合われたことが、要保護児童対策地域協議会にも情報共有され、連携・協働体制の構築が図られています。



＜民生・児童委員さんとの話し合い＞

民生委員・児童委員さんの役割として、子どもや子育て家庭との相談活動、関係機関とのパイプ役といった仕事があります。

民生委員・児童委員さんと学校（教職員全員）は、課題の共有理解及び人間関係づくりを目的に、全体会「民生委員・児童委員と教職員との話し合い」を学期に1回行っています。

学校・教職員は、子どものことについては直接家庭と話すことができますが、保護者の仕事（収入）や夫婦間の問題等の家庭内の案件に入っていくけません。そして、これらの家庭的な諸問題が、

子どもの学習・生活課題として出てくるのが往々にしてあります。今、「子どもの貧困」が大きな課題になっています。こうしたことを具体的に解決に向けて協議していくことが赤岡小学校ではとても重要であり、民生委員・児童委員さんにパイプ役となっただき、課題解決に取り組んでいます。

たくさんの方々と連携・協働することで、子どもたちからは、「地域の方が僕たち私たちの事を『宝』と言ってくれてうれしい。朝、『おはよう』『いってらっしゃい』と声をかけてくれると、笑顔になれます。」といった声が、聞かれます。

《食育の取組》 ～ 食事は体と心の栄養源 ～

また、食育についても力を入れており、毎日の取組として、給食の時に「今日のメニューの中の赤色（たんぱく質を多く含む食品）は？ 緑色（ビタミン、ミネラル、食物繊維の多い食品）は？ 黄色の食品（糖質を多く含む食品）は？」と担任から、子どもたちに投げかけています。

地元食材を使用した食育にも力を入れており、子どもたちと地域の方との交流を図りながら調理をしています。

平成28年度は、6月に6年生が朝食作りコンテストを行います。そして、12月の『みんなでつって、みんなで食べよう』の全校取組に向けて、コンテストで出された友達のメニューを含め、家庭で保護者に頼ることなく調理をします。

このように期間の長い取組を通して、子どもや家庭に「食」について考えてもらう取組を行っています。少しでも多くの児童が、食に対して『自立』して欲しいと赤岡小学校区支援地域本部では考えています。

＜支援・協働班の話し合い＞

